

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」 仁和寺にある法師―「徒然草」
新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		エイ するどい	チョウ あざけーる	キ	イツ	(カン) たーえる	うら	ヒョウ ただよーう	コウ つな	ボウ ふぎ	シユウ ふね ふな	ジョ (ニョ)	キン わずーか	セン おうぎ	ニン しのーぶ しのーばせる
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		鋭	嘲	騎	逸	堪	浦	漂	綱	房	舟	如	僅	扇	忍
		ノ	、	、	ノ	、	、	、	く	一	ノ	一	ノ	一	フ
		⑭ 鋭い 考え (するどい)	⑬ 失敗を嘲笑する (ちようしよう)	⑫ 騎馬戦 (きば)	⑪ 偉人の逸話 (いっわ)	⑩ 任に堪える (たえる)	⑨ 浦沿いの歩道 (うら)	⑧ 空を漂う雲 (ただよ)	⑦ 手綱を握る (たづな)	⑥ 女房 (によぼう)	⑤ 舟を浮かべる (ふね)	④ 突如として 雨が降り出した (とつじよ)	③ 僅かな手勢 (わずか)	② 扇の的 (おうぎ)	① 恥を忍ぶ (しのぶ)

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の読み

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましよう。

① 月夜の晩	()	ばん	()	①7 過去の情景を思い出す	()	じょうけい	()
② 鐘を鳴らす	()	かね	()	①8 故郷へ帰る	()	こきよう	()
③ 頼朝が旗揚げする	()	はたあ	げ	①9 面を上げる	()	おもて	()
④ 鎌倉を本拠地に定める	()	ほんきよち	()	②0 弓を引き絞る	()	しば	る
⑤ 兵を挙げる	()	あ	げる	②1 一差し舞う	()	ま	う
⑥ 城を攻める	()	せ	める	②2 勝利の歓声	()	かんせい	()
⑦ 勢力を伸ばす	()	せいりよく	()	②3 職務上の行為	()	こうい	()
⑧ 日暮れを迎える	()	むか	える	②4 群衆を制止する	()	せいし	()
⑨ 手招きする	()	てまね	き	②5 高価な品物	()	こうか	()
⑩ 標的を射る	()	い	る	②6 欠点を非難する	()	ひなん	()
⑪ 出場を辞退する	()	じたい	()	②7 時間が惜しい	()	お	しい
⑫ 義経の絶対の命令	()	ぜったい	()	②8 敵の意表をつく	()	てき	()
⑬ 事実と相違がある	()	そうい	()	②9 命懸けの作業	()	いのちが	け
⑭ 風が吹く	()	ふ	く	③0 妙に静まり返る	()	みよう	()
⑮ 激しい北風	()	はげ	しい	③1 待ち時間に心が騒ぐ	()	さわ	ぐ
⑯ 車が揺れる	()	ゆ	れる	③2 予防は治療に勝る	()	まさ	る

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」

仁和寺にある法師―「徒然草」

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 恥を しのぶ	(忍ぶ)	⑮ 月夜の ばん	(晩)
② おうぎの 的	(扇)	⑯ かね を鳴らす	(鐘)
③ わずか な手勢	(僅か・僅か)	⑰ 頼朝が はたあげ する	(旗揚げ)
④ とつじよ として <small>雨が降り出した</small>	(突如)	⑱ 鎌倉を ほんきよち に定める	(本拠地)
⑤ ふね を浮かべる	(舟)	⑲ 兵を あげる	(挙げる)
⑥ にようぼう	(女房)	⑳ 城を せめる	(攻める)
⑦ たづな を握る	(手綱)	㉑ せいりよく を伸ばす	(勢力)
⑧ 空を ただよう 雲	(漂う)	㉒ 日暮れを むかえる	(迎える)
⑨ うら 沿いの歩道	(浦)	㉓ てまねき する	(手招き)
⑩ 任に たえる	(堪える)	㉔ 標的を いる	(射る)
⑪ 偉人の いつわ	(逸話)	㉕ 出場を じたい する	(辞退)
⑫ きば 戦	(騎馬)	㉖ 義経の ぜったい の命令	(絶対)
⑬ 失敗を ちようしよう する(嘲笑・嘲笑)	(嘲笑・嘲笑)	㉗ 事実と そうい がある	(相違)
⑭ するどい 考え	(鋭い)	㉘ 風が ふく	(吹く)
		㉙ はげしい 北風	(激しい)
		㉚ 車が ゆれる	(揺れる)

月夜の浜辺 扇の的―「平家物語」
教科書に登場する漢字の書き

仁和寺にある法師―「徒然草」

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

①過去のじょうけい <small>を</small> <small>思い出す</small>	情景	□声をしのばせる	(忍ばせる)
②こきようへ帰る	故郷	□せんふうき	(扇風機)
③おもてを上げる	面	□きんさで勝つ	(僅差)
④弓を引きしぼる	絞る	□だんぼう <small>器具</small>	(暖房)
⑤一差しまう	舞う	□ひとふさ <small>のぶどう</small>	(一房)
⑥勝利のかんせい	歓声	□つな引き	(綱)
⑦職務上のこうい	行為	□布をひようはくする	(漂白)
⑧群衆をせいしする	制止	□気品がただよう	(漂う)
⑨こうかな品物	高価	□聞くにたえない	(堪えない)
⑩欠点をひなんする	非難	□ひとをあざける	(嘲る・嘲る)
⑪時間がおしい	惜しい	□目つきがするどい	(鋭い)
⑫てきの意表をつく	敵	□しんしんきえい <small>(新進気鋭)</small>	(新進気鋭)
⑬いのちがけの作業	命懸け		
⑭みように静まり返る	妙		
⑮待ち時間に心がさわぐ	騒ぐ		
⑯予防は治療にまさる	勝る		